

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦か角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

生活の至るところで秋を感じるようになりました。制作にも勢が出る
ことでしょう。

かなは色々なちがいが出来る楽しみがあり、また一方では難しいところ
もあります。半切は基本二行で、三行〜四行書きや上段と下段に分け
て書く方法、また角半になると行数が多く行に高低をつけたり、隣どう
しの響きも考えねばなりません。山場を作り、いかに効果的に表現する
かが重要でその為には全部を主張させない事が大切です。めりはりの利
いた作品創りに構成も充分考えてください。

かな部 次号課題

A 柿の葉は色づかずして落ちにけり

俄かに深き霜や至りし

(島木赤彦)

・柿の葉はまだ十分に色づきもしないうちに落ちてしまった。にわ
かに深い霜がやってきたのであろうか。

B

枯枝に鳥のとまりけり秋の暮

(松尾芭蕉)

・「枯枝」は枯死した木の枝。「秋の暮」は秋の終りの意でなく秋の
夕暮の意。寒鴉枯木の趣きをよんだもの。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉

辻田亜砂

雅趣の漂う作。渴筆部分のリズムも妙味あり。

松本栖麗

潤渴の妙。字幅の変化もよく利いている。

〈修士以下の部〉

岡田清子

無理のない運筆、山場の連綿線も冴えている。

金城翠苑

紙面にくい込んだ線で爽やかな作。「難」の偏は一考。

矢島理悦子

柔軟な筆使い。特に書き出しがよい。

田麥知風

素直で清潔感あり。印は少し左に。

天川青扇

弾力に富んだ線、淡々として大胆さを表現。

橋爪詠齋

抑揚のある線で流れはよいが渴筆の変化がほしい。

田中佐代子

緊張感ある線。少し柔らかさもあつてよい。

上田紫峰

上手く筆を操り趣きのある作。

安積瑞泉 行間の変化や右上の余
白がうまく活かされた。

小林緑萱 躍動感溢れる筆致。後
半で流れも出して良。

了戒華映

素朴な書き振り。字間のとり方がよい。

武内昇月

流暢な動き、どこかにめりはりが必要。

後藤由香

確かな線、流れや字形よく好感のもてる作。

引場琴川

情景が思い浮かぶ作風。自然体でよい。

今井清翠

山場が多少大きくも一行目がよくカバーしている。